

平成 28 年度 指定管理者年度総合評価表
(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月実施分)

作成日	平成 29 年 6 月 8 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市児童科学館・八戸市視聴覚ライブラリー	
所在地	八戸市類家四丁目 3-1	
施設概要	《設置目的》 子どもたちの科学する心を育てる児童科学館と、学校教育・生涯学習のための視聴覚教材の制作・貸出し・研修を行う視聴覚センターの機能をもつ。三八視聴覚教育協議会の視聴覚ライブラリー業務も行っている。 《建物構造》 鉄筋コンクリート造 2階建 PH1階 プラネタリウム・視聴覚室・スタジオ・天体観測室	
指定管理者	名称	三八五ふれあいネット 三八五バス株式会社 代表取締役 新井山 長吉 三八五交通株式会社 代表取締役 小笠原 修
	代表者	三八五ふれあいネット
	所在地	八戸市江陽 2-18-37
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	施設使用許可及び視聴覚教材教具貸出事務 観覧料徴収事務 施設の運営に関する事務	
市所管課 (問合せ先)	八戸市教育委員会 (八戸市総合教育センター)	
	電話	0178-46-0521 (直通)
	E-mail	edcenter@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

<p>評 価</p>	<p>1 指定管理者として2期目の5年目（最終年度）。今年度も施設の設置目的を理解し、各種法令、条例、規則等の遵守を徹底し、教育関係機関と連携した「地域で子どもを育てる」活動を推進し、保育園、幼稚園、認定子ども園、学校、児童館、公民館等の教育活動の支援に努めてきた。また、GWKIDS工房祭や、かがくかん祭を開催し、利用者に対し体験を通じて「理科・科学の好きな子どもの育成」と「豊かな人間性の育成」を基本とした事業運営を心掛けた。これらの企画の開催時には、高等学校や短期大学からボランティアを募り、協力して運営を行った。さらに、知識・技能の向上を目的に、職員を対象に各種研修を実施し、総合的な人間力の向上を目指した。その結果、入館者が前年度を1.8%上回った。</p> <p>2 プラネタリウムでは、保育園、幼稚園、認定子ども園を対象にした「幼児投影」、小中学校を対象とした「学習投影」、一般市民を対象とした「季節の星空散歩」の生解説番組を用意し、利用者の要望に応じた番組を提供している。さらに、イベント開催時に複数の番組を投影したほか、「星のお兄さん爆笑プラネタリウム」「熟睡プラ寝たリウム」等の特別プラネタリウムを開催した。その結果、観覧人数が前年度を1.9%上回った。</p> <p>3 視聴覚ライブラリーの利便性の向上を目的に平成26年度より「移動ライブラリー」を実施。三八管内市町村教育委員会、小・中学校を中心に、当館所有の視聴覚教材等を紹介し、周知活動に努めた。その結果、教材貸し出しが前年度を9.1%上回った。</p> <p>4 緊急時動員体制と情報連絡体制を整えた「災害時行動マニュアル」及び子どもたちや職員の安全確保の方策についての「災害対応マニュアル」を作成し、万が一の災害に対して全職員が共通理解している。非常時に機能する訓練などを実施しておく必要があるため、関係機関と連携し、地震及び火災を想定し年2回の訓練を実施した。また、様々な年代の方が来館することから、万が一に備え「普通救命講習」を開催し、AEDの正しい使い方や心肺蘇生法の訓練を行った。さらに、毎日敷地内外を巡回し、異常の有無を確認している。</p> <p>5 職員による自己評価を実施し、改善点を見直し、より良い運営を目指した取組を進めている。以上、指定管理者としての8年目の総評として、各種法令・各条例等を遵守した管理運営を適切に実施した。その結果、職員各自が参画意識を持ち、事業企画等に創意工夫を活かした内容になった。</p>
<p>今後の目標</p>	<p>1 職員の知識・技能の向上を図り、総合的な人間力の向上を目指す。</p> <p>2 プラネタリウムの充実・多様化を目的に「生解説番組」の増加を目指す。</p> <p>3 児童科学館の活動をより知ってもらうために、館外活動にこれまで以上に力を入れる。</p> <p>3 各教育機関・関係団体の声を最大限に生かし、「施設の新しい魅力づくり」を目指す。</p> <p>4 災害等の緊急事態に素早く対応できるように、職員の危機管理能力の向上を目指す。</p>

■市（所管課）の総合評価

<p>評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の10万人にはわずかに届かなかったものの、指定管理者の努力によって、様々な事業を展開し入館者数が増加し続けている。 ・プラネタリウム観覧について、魅力ある特別企画をするなど積極的に質を高めようとしている点が評価できる。 ・長年課題とされていた視聴覚教材の貸し出し件数が1割程度伸びた。各学校に出向いておすすめ教材を見せ、その場で借用してもらうなど、貸し出しの工夫に努めている。また、新しい検索システムを開発し、容易に検索できるよう利便性を高めた。 ・三八五ふれあいネットが指定管理者となり8年目、第二期の最終年度も順調に運営された。第三期も継続指定したので、今後も市教育委員会との連携を密にしながら管理運営することを望む。
<p>指摘事項</p>	<p>特になし</p>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間延長や休館日を減らすなど、市民サービスの向上に努めていた。 ・平日・日祝日は1時間30分延長し8:30から17:00まで、第2・4土曜日は4時間30分延長し8:30から20:00まで開館した。
法令の遵守	○	法令、条例や運営規則、施行規則を確認しながら業務を遂行していた。
適正な人員配置	◎	務基準書に示された水準以上の管理運営をするために必要な人員及び資格者を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	◎	提案内容を上回る地域貢献活動が行われていた。 ・「科学であそぼう in ラピア」「八戸市環境・健康フェスタ」等に参加していた。
従事者の教育・研修	◎	「接客・接遇について」「けがへの対処法」など、定期的に研修会を行っている。
緊急事態への対応	◎	緊急事態の対応マニュアルを作成し、年2回の避難訓練、普通救命講習を実施した。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書は適切に管理保存されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告、事業報告、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	観覧料等の徴収事務が適切に行われていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	○	市で示した基準通りに減免が行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理者専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑それぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	○	21年度から23年度、24年度から28年度と指定管理者の指定を受けていたため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	○	21年度から23年度、24年度から28年度と指定管理者の指定を受けていたため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	○	書類の届出が適切に行われた。 ・教育委員会承認事項に関わる届出は適切に行われた。

施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。(使用制限、条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明					
開館日数	○	前年度と同等の開館日数である。 H27 318日 H28 315日					
入館者数	◎	入館者数が前年度を上回った。 H27 98,026人 H28 99,771人(前年度比 101.8%)					
プラネタリウム観覧者数	◎	観覧者数が前年度を上回った。 H27 14,538人 H28 14,810人(前年度比 101.9%)					
施設利用状況	◎		H27		H28		自主事業の成果などで、入館者数が前年度実績を上回った。(入館者1.8%増)
		スタジオ	6件	9人	3件	6人	
		視聴覚室	219件	5,329人	218件	4,918人	
		実習室	78件	1,853人	68件	1,639人	
		講義室	80件	4,083人	67件	4,886人	
		天体観測室	26件	639人	25件	706人	
合計	409件	11,193人	381件	11,435人			
プラネタリウム利用状況	◎	個人観覧者数	7,809人		8,080人		「星のお兄さん爆笑プラネタリウム」や「熟睡プラ寝たリウム」などの特別投影により、観覧者数が前年度を上回った。(観覧者数1.9%増)
		団体観覧者数 (上段減免、下段有料)	135件 4,511人		119件 4,604人		
			1件 29人		1件 60人		
		減免観覧者数	191件 2,189人		152件 1,802人		
		合計	14,538人		14,728人		
視聴覚教材貸出し状況	◎	16ミリ映画	56本		68本		三戸郡への教材の無料宅配、八戸市内学校・公民館へメール便の活用、移動ライブラリーの実施等が好評だったこともあり、教材貸出数が前年度実績を上回った。(前年比9.1%増加)
		スライド	-		-		
		ビデオ教材	146本		238本		
		LD	-		-		
		パソコンソフト	1本		-		
		DVD	774本		726本		
自主事業及び委託事業の実施状況	◎	委託事業では、わくわくサイエンスや青少年のための科学の祭典への協力、移動天文教室、少年少女発明クラブ、天文クラブ等の12の事業を実施した。各教育機関との連携を密にした一方で、八戸天文同好会、科学であそび隊、星好きんず等の地域ボランティア団体や、八戸工業大学及び八戸学院短期大学の学生、八戸市内の高校の生徒、その他の有識者や市民と協力して事業を実施した。					
		4つの研修会・講座を企画、実施した。小・中学校アナウンス講習会では、プロのアナウンサーから発声の基本、校内放送の仕方等の指導を受けた。また、映像利用学習会は、市教委の主要施策である「生涯学習」・「社会教育」をテーマにした講演会で、9回実施し、422人の参加者があった。					

		科学館キッズ工房	32,837人	左記の自主事業を始め22の自主事業を行い、47,242名の参加があった。特に科学館キッズ工房は、多くのリピータを獲得している。その他には、星のソムリエ講座等、天文にまつわる事業も展開した。また、八食わくわくフェスタや、八戸市環境・健康フェスタ等、館外活動にも精力的に取り組み、科学工作に触れる機会を増やした。これらの事業を通じて、市民の科学する心を育んだ。
		かがくかん祭	3,331人	
		神話おぼけ屋敷	1,008人	
		八食わくわくフェスタ出展	1,192人	
		八戸市環境・健康フェスタ	1,100人	
		星のソムリエ講座	224人	
		浮世絵を見る	16人	
その他の取組	◎	市立図書館 映像利用鑑賞会		八戸市立図書館2階において、一般市民を対象とした上映会及び講演会を実施した。上映会では、当館保有映像教材を活用し、講演会では、世界遺産をテーマに現地で撮影した映像を講師から紹介した。全8回実施。196人の参加者があった。
		星のお兄さん 爆笑プラネタリウム		「星のお兄さん」こと田端英樹氏による特別プラネタリウム。優しい音楽とともに星を楽しむ通常のプラネタリウムと異なり、にぎやかな音楽とともに星を面白く解説し、室内が笑いに包まれた。2回の投影で220人の観覧者が集まった。
		熟睡プラ寝たリウム		プラネタリウムは、星空を楽しむだけでなく、ゆったりとくつろぐことができる空間でもある。星座解説は最小限にとどめ、癒しの音楽を聴きながらくつろぐことができる番組を投影した。11月23日(勤労感謝の日)に開催し、68名の観覧者が集まった。
		出前映写会		保育園や公民館などで当館が保有する視聴覚教材の中から、16mmフィルムやDVDの映画作品やアニメ作品を中心に上映会を行った。
		出前事業の充実 (幼稚園、保育園、認定子ども園、小学校、公民館、児童館との連携事業)		小学校、公民館、児童館等に出前事業を実施した。科学館キッズ工房の「かさぶくろロケット」「スーパーボール」等を、工作するだけではなく、疑問を持たせ解決に導くという順序を経て行うことで児童の科学する心を育むことができた。
		他施設との連携事業		八戸市立南郷図書館と連携し、星空観望会を実施し、評価を得られた。また、青森県立種差少年自然の家での研修や、岩手県北青年の家と情報交換を行った。
		館内外の安全管理		館内外の安全管理のため、朝、夕に敷地内外の巡回、館内点検を定期的実施。施設の安全管理と、異常箇所の早期発見、対応に努めた。
		職員のスキル向上 研修の実施		1 知識・技能の向上を目的に各種研修を年間計画で計画し、実施した。 2 科学館でのイベント企画と、全国の科学館関係者との情報交換を目的に「全国科学館連携協議会第2回国内研修」に参加した。 3 実験教室の開催と、参加者同士の情報交換を目的に、科学技術館で開催された「エネルギー・放射線の不思議」研修会に参加した。 4 AEDの使い方、心肺蘇生法等を学んだ。 いずれの研修も、実りある成果をあげ、現行の業務に役立っている。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																									
指定管理業務の収支状況	○	<p>適切な収支で事業が円滑に実施されていた。</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">収入①</td> <td>利用料金</td> <td>850,000</td> <td>828,580</td> <td>729,610</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>34,913,000</td> <td>35,239,000</td> <td>35,304,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>0</td> <td>43,938</td> <td>8,232</td> </tr> <tr> <td>自主事業繰入金</td> <td>0</td> <td>36,255</td> <td>36,255</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35,763,000</td> <td>36,147,773</td> <td>36,078,097</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出②</td> <td>人件費</td> <td>23,695,000</td> <td>23,681,720</td> <td>23,916,018</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>7,236,000</td> <td>7,077,237</td> <td>7,049,343</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>3,367,000</td> <td>3,012,168</td> <td>3,211,508</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td>1,864,000</td> <td>1,894,740</td> <td>1,890,321</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36,162,000</td> <td>35,665,865</td> <td>36,067,190</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>43,938</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①-②-③)</td> <td>▲399,000</td> <td>481,908</td> <td>▲33,031</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利用料金	850,000	828,580	729,610	指定管理料	34,913,000	35,239,000	35,304,000	修繕料繰越金	0	43,938	8,232	自主事業繰入金	0	36,255	36,255	計	35,763,000	36,147,773	36,078,097	支出②	人件費	23,695,000	23,681,720	23,916,018	維持管理経費	7,236,000	7,077,237	7,049,343	事業費・一般事務費	3,367,000	3,012,168	3,211,508	消費税	1,864,000	1,894,740	1,890,321	計	36,162,000	35,665,865	36,067,190		次年度修繕料繰越金③	0	0	43,938		収入－支出(①-②-③)	▲399,000	481,908	▲33,031
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																							
収入①	利用料金	850,000	828,580	729,610																																																							
	指定管理料	34,913,000	35,239,000	35,304,000																																																							
	修繕料繰越金	0	43,938	8,232																																																							
	自主事業繰入金	0	36,255	36,255																																																							
	計	35,763,000	36,147,773	36,078,097																																																							
支出②	人件費	23,695,000	23,681,720	23,916,018																																																							
	維持管理経費	7,236,000	7,077,237	7,049,343																																																							
	事業費・一般事務費	3,367,000	3,012,168	3,211,508																																																							
	消費税	1,864,000	1,894,740	1,890,321																																																							
	計	36,162,000	35,665,865	36,067,190																																																							
	次年度修繕料繰越金③	0	0	43,938																																																							
	収入－支出(①-②-③)	▲399,000	481,908	▲33,031																																																							
自主事業の収支状況	○	<p>適切な収支で事業が円滑に実施されていた。</p> <p>総収入 2,218,450 円 (前年度実績 2,192,910 円) 総支出 2,188,559 円 (前年度実績 2,156,685 円) 収支 29,891 円</p>																																																									

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	<p>利用者満足度調査及びその結果を活かす仕組みができていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの月毎の集計結果を館内に掲示していた。
施設概要(利用方法)の周知	○	<p>施設概要や利用方法等を広報やホームページ、施設だより等で積極的に周知していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校および幼稚園・保育園等に、「館だより」でイベントや自主事業について情報を伝えていた。
苦情・要望等の受付体制	○	<p>「利用者ご要望ボックス」を設置し、苦情・要望等の受付体制を明示していた。</p>
苦情・要望等への対応	○	<p>苦情・要望等に対し適切に対応していた。(要望：41件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KIDS工房の工作を増やしてほしいとの要望に対し、ストロー弓矢、ブーメランを新作として提供するなど、前向きに検討した。
個人情報の保護	○	<p>個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。</p>
情報公開	○	<p>情報公開の規程が整備され、遵守されていた。</p>
秘密保持義務	○	<p>秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。</p>
環境への配慮	○	<p>コストの削減に努め、環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。</p>

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者による外部評価を実施し、改善点を見直しよりよい館運営を目指していた。 ・利用者アンケート結果に関して、問題点の克服に向けた取り組みを検討した。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	<p>月例報告書などを元に、運営・収支状況などのモニタリングを行った。遅滞なく提出され、内容も適切であった。</p>

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	5回	4月8日	所長・GL・担当	前年度の業務報告、今年度の館の運営に関わる見通しや今後の予定について報告を受けた。また、修繕・工事に関わる設備を中心に視察した。
		6月8日	GL・担当	館の運営状況の把握・確認とともに、新たな視聴覚教材の検索システム導入に向けてデモを行い、意見を交換した。
		9月23日	GL・担当	館の運営状況の把握・確認とともに、施設・設備の修繕、事業等、次年度の予算請求に関わる要望の確認を中心に視察した。
		11月16日	GL・担当	新たな取組である「まちなかおたのしみ劇場」の成果等を確認するとともに、修繕等が必要な施設の状況について視察した。
		2月16日	所長・GL・担当	今年度の事業の振り返りと春休みの企画を含めた次年度の計画・企画について意見交換した。
	実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> ・予定していた事業や内容について適正な管理運営を行っていた。 ・キッズ工房等の自主事業により、入館者を増やすための取組を積極的に行うとともに、活動の質を高める努力をしていた。 ・市民からの要望を真摯に受け止め、施設の整備をするなど適切に対処していた。 ・施設の状態を的確に把握し、自社で対応可能な修繕は行うなど、環境整備に前向きに取り組んでいた。 				

※GL：グループリーダー